

社会資本総合整備計画

あき た か た し こうきょうげすい どう ぼうさい あんぜん
安芸高田市公共下水道(防災・安全)

(第4回変更)

ひろしまけん あき た か た し
広島県 安芸高田市

平成31年2月

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	安芸高田市公共下水道（防災・安全）			重点計画の該当	
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	安芸高田市		
計画の目標	<p>老朽化した施設の事故の未然防止及びLCC（ライフサイクルコスト）の最小化を図るため長寿命化計画、ストックマネジメント計画を策定する。</p> <p>向原浄化センターにおいて策定した長寿命化計画にあわせて、対策工事（耐水化対策を含む）を実施する。</p> <p>向原浄化センターにおいて策定した耐震診断にあわせて、耐震対策工事を実施する。</p> <p>新しい耐震対策指針に基づき管路の耐震診断を実施する。</p> <p>災害時における下水道機能の継続復旧に備えるため「下水道BCP」の策定をおこなう。</p>				

計画の成果目標（定量的指標）	<p>安芸高田市において、長寿命化計画、ストックマネジメント計画の策定率を0%（H27当初）から25%（H31末）に向上させる。</p> <p>向原浄化センターの長寿命化対策工事の実施率を0%（H27当初）から75%に向上させる。</p> <p>向原浄化センターの耐震対策工事の実施率を0%（H27当初）から75%に向上させる。</p> <p>下水道施設の耐震対策指針等に基づき耐震診断を実施し、実施率を0%（H27当初）から100%に向上させる。</p> <p>安芸高田市下水道事業のBCPについて詳細版の策定を行い、策定率を0%（H27当初）から100%に向上させる。</p>				
----------------	---	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H27当初)	(H29末)	(H31末)	
安芸高田市における長寿命化計画、 ストックマネジメント計画 策定率 長寿命化計画、 ストックマネジメント計画 の策定済の施設（件）／長寿命化計画、 ストックマネジメント計画 の策定の対象施設（件）	0%	25%	25%	
向原浄化センターにおける長寿命化対策工事実施率 長寿命化対策工事済の箇所（件）／長寿命化対策の対象箇所（件）	0%	25%	75%	
向原浄化センターにおける耐震対策工事実施率 耐震対策工事済の箇所（件）／耐震対策の対象箇所（件）	0%	25%	75%	
管路の耐震診断実施率 管路の耐震診断実施済の処理区（件）／管路の耐震診断の対象処理区（件）	0%	100%	100%	
下水道BCP策定率 下水道BCP策定済の件数（件）／下水道BCP策定必要件数（件）	0%	100%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	490百万円 732百万円	A	487百万円 729百万円	B	0	C	3百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.6% 0.4%
-------	-----------------	------------------	---	------------------	---	---	---	------	---	---	---------------------------	--------------

交付対象事業

A 基幹事業													全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）								
											H27	H28	H29	H30	H31				
A07-001	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	改築	長寿命化支援事業（向原浄化センター）	長寿命化計画策定	安芸高田市						7		策定済	長寿命化計画
A07-002	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	改築	長寿命化支援事業（向原浄化センター）	水処理施設（980m ³ /日）改築更新 他	安芸高田市						304 496		策定済	長寿命化計画
A07-003	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	改築	長寿命化支援事業（向原浄化センター）	水処理棟耐震対策 他	安芸高田市						159 121		-	
A07-004	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	改築	ストックマネジメント支援事業（甲田浄化センタ-）	機能診断	安芸高田市						15		未策定	ストックマネジメント計画
A07-005	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	改築	安芸高田市下水道事業	管路耐震診断	安芸高田市						5		-	
A07-006	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	改築	長寿命化支援事業（向原浄化センター）	耐水化対策 他	安芸高田市						100		-	
合計（基幹事業）																729			

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成31年 1月10日

計画の名称	安芸高田市公共下水道（防災・安全）			重点計画の該当	
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	安芸高田市		
計画の目標	<p>老朽化した施設の事故の未然防止及びLCC（ライフサイクルコスト）の最小化を図るため長寿命化計画、ストックマネジメント計画を策定する。 向原浄化センターにおいて策定した長寿命化計画にあわせて、対策工事（耐水化対策を含む）を実施する。 向原浄化センターにおいて策定した耐震診断にあわせて、耐震対策工事を実施する。 新しい耐震対策指針に基づき管路の耐震診断を実施する。 災害時における下水道機能の継続復旧に備えるため「下水道BCP」の策定をおこなう。</p>				

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
C07-001	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	-	安芸高田市下水道事業	下水道BCP策定	安芸高田市						3	
合計（効果促進事業）											3					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C07-001	下水道BCPを策定することにより、災害時における下水道機能の継続復旧に備えることができる。	

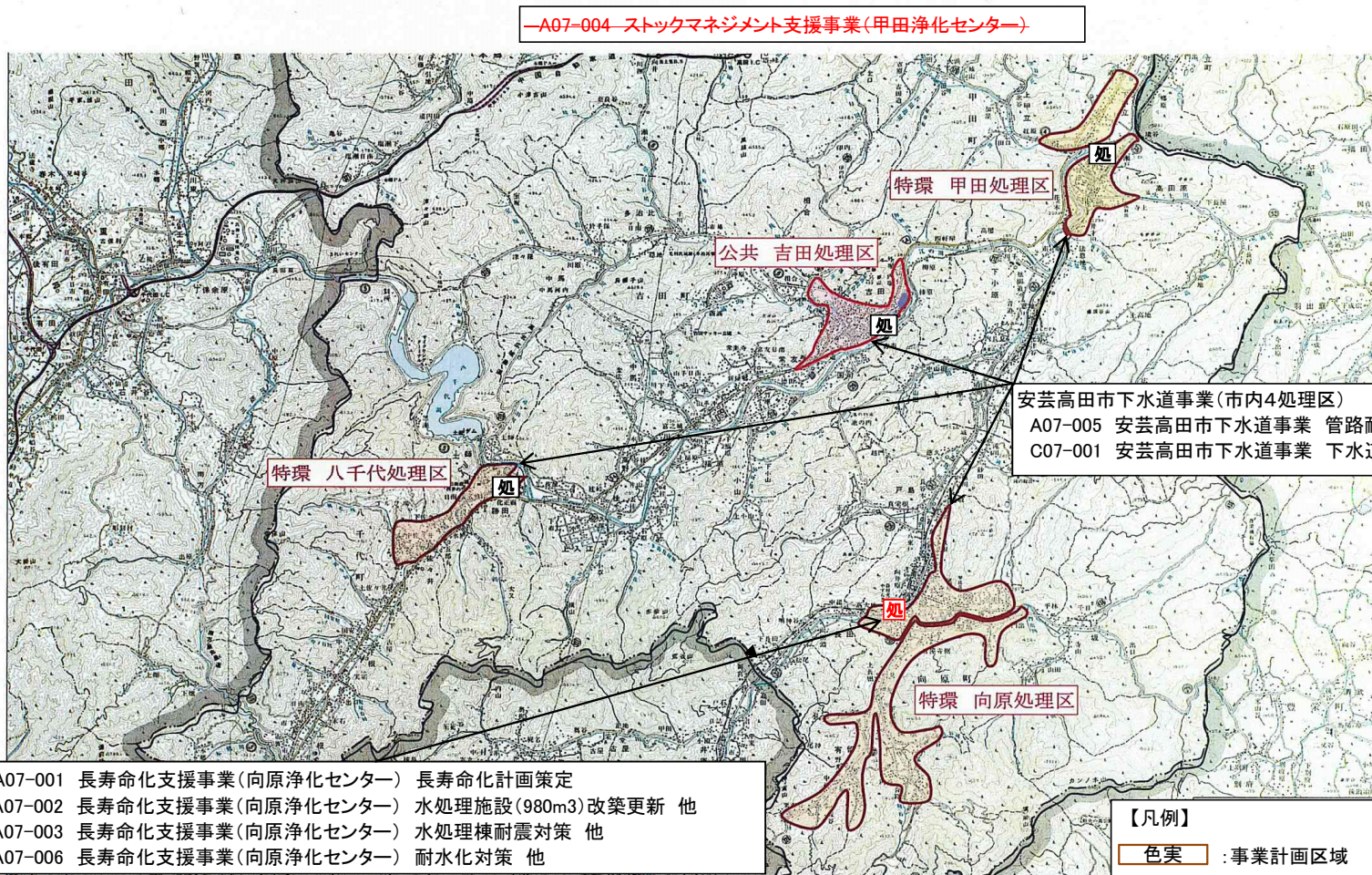
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	7	16	37		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	7	16	37		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	7	16	18		
翌年度繰越額 (f)	0	0	19		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0	0	0		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	安芸高田市公共下水道（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	安芸高田市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称 : 安芸高田市公共下水道(防災・安全) 事業主体名 : 広島県 安芸高田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2)上位計画等と整合が確保されている。 ・広島湾流域別下水道整備総合計画 ・江の川流域下水道整備総合計画 ・広島県汚水適正処理構想推進計画 ・公共下水道事業計画(吉田、甲田、向原、八千代処理区) ・都市計画事業認可計画 ・安芸高田市長期総合計画	<input type="radio"/>
②目標と事業との関係	
1)事業による目標達成の可能性が高い。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合が確保されている。	<input type="radio"/>
2)指数・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3)指数・数値目標がわかりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1)事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>